
第105期 報告書

平成27年6月1日～平成28年5月31日

 小津産業株式会社

企業理念

当社グループは、『伝統、それは継続的な開拓の歴史である』との認識のもと、お客さまの満足や喜びを第一に考えた新しい付加価値を提案し、豊かな暮らしと文化に貢献してまいります。



私たちが生み出す付加価値は、伝統と革新の融合によって生まれます。
故(ふる)きを温(たず)ね、新しきを知る——。
温故知新の精神を具現し続けることで、お客さまに安心感を提供し、更なる高みを目指していくことが出来ると考えています。
温故知新とは、小津グループが大切にしている企業理念を表す言葉です。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

ここに第105期(平成27年6月1日～平成28年5月31日)報告書をお届けするにあたりまして、謹んでご挨拶申し上げます。



代表取締役社長

今枝英治

当期におけるわが国経済は、個人消費の停滞感が続く中、雇用環境や大手企業を中心とした企業収益の改善等に支えられ、緩やかな回復基調で推移していましたが、年明け以降の急激な円高・株安の進行や日銀によるマイナス金利導入の影響もあり、先行き不透明な状況が続いています。海外におきましては、中国をはじめとするアジア新興国経済の成長鈍化や資源国における景気の下振れ等の影響があるものの、雇用環境や個人消費の改善を背景とした米国経済の持続的成長に支えられ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、革新と挑戦をテーマに、「グローバル展開の更なる推進」、「革新的新事業・新商品の創出」、「コンバーター機能の強化拡充」、「小津グループ各社の連携による事業推進」、「次世代を担う人材育成」という中長期的な経営戦略に基づき営業活動を展開してまいりました。

事業分野別の状況および今後の展望につきましては後述させていただいておりますので、ご参照くださいますようお願いいたします。

新しい経営体制となって1年が経ちましたが、360余年続く当社の伝統と「のれん」に込めた思いを大切にしていきたいという気持ちに変わりはありません。「のれん」は、これまで当社グループが長年築き上げてきた信用や信頼の証であり、これを第一に考え、引き継いできた文化を守り、次の世代へと受け渡していくことが私に求められた使命であり、責務であると考えております。

今後も経営環境の変化に迅速に対応しつつ、中長期的な経営戦略に基づき、経営資源の配分最適化を行い、グループ各社の連携強化による効果を最大限に発揮し、企業価値向上に全力で邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解をいただき、また従来と変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

売上高	387億55百万円
経常利益	5億91百万円
営業利益	5億86百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	3億69百万円

事業部門の状況

不織布事業

エレクトロニクス分野では、自動車関連用途の電子部品やデバイス産業向けの販売が好調であり、光学機器向けの販売も復調傾向となったため、売上高、利益面ともに前期を上回りました。日本プラントシーダー株式会社が担うアグリ分野では、コーンや落花生等の大粒子テープの販売および韓国や九州地区における資材・機材の販売が好調に推移したことなどにより、売上高が微減であるものの、利益面では前期を上回りました。一方、前期に好調だったコスメティック分野における中国市場向けの販売が低迷し、

売上高 **133億58**百万円

株式会社ディプロが担う日用雑貨分野でも夏物ウェット商品等において販売が低迷いたしました。

今後につきましては、エレクトロニクス分野における、国内産業の海外へのシフトおよび中国をはじめとした東南アジアにおける現地企業の台頭・拡大が進んでいることもあり、海外支店や中国およびタイの現地法人の販売機能を最大限に活用し、積極的な取り組みを行ってまいります。また、除菌関連分野や除染関連分野など、新事業・新商品への取り組みを加速させてまいります。

家庭紙・日用雑貨事業

アズフィット株式会社が営む家庭紙・日用雑貨事業につきましては、依然として消費マインドの停滞や低価格志向が続いており、大手小売業を中心とした安価な輸入家庭紙商品による影響も見られ、売上高はほぼ横ばいとなりました。一方、前期より手掛けていた物流の効率化や採算性を軸にした収益構造の見直し、家庭紙商品の価格修正等により利益面では大幅に改善することができ、前期を上回

売上高 **253億54**百万円

りました。

今後につきましては、グループ会社のシナジー効果を発揮したオリジナル商品や高付加価値商品の取扱い拡大による競合他社との差別化を推進するとともに、成長が見込める衛生マスク市場への拡販および介護用品事業への展開や業務用品事業の深耕などを柱にした事業戦略を積極的に推し進めることで存在価値を高めてまいります。

トピックス

展示会出展報告

今期は、新事業開発室による食品添加物関係の展示会出展に力を入れました。過酢酸について、導入事例や使用方法等を紹介するセミナーを複数回執り行い、多くのブース来場者や商品の問い合わせをいただきました。現在、お問い合わせいただいた各企業を回り、拡販に努めています。



また、和紙部門を統轄する株式会社小津商店と共同で「第1回文化財保存・復元技術展」に出展し、これまでエレクトロニクス分野で使われていた当社の主力製品である不織布ワイパーの新たな使用用途の深耕に努めました。

グループ企業であるアズフィット株式会社は、都営地下鉄のつり革広告を1車両分、年間ジャックを行ったり、複数回展示会に出展して、株式会社ディプロのウェット製品や当社のフェイスマスクなどを展示しました。グループのシナジー効果を発揮する端緒として活動しております。



海外においては、26ヶ国2,568社が出展するアジア地区では最大の展示会である「上海美容博覧会」に出展し、当社のオリジナル製品であるラップマスクや化粧用コットンなどを展示し、付加価値の高い製品をアピールしました。



グループ会社の状況 (平成28年5月31日現在)



※1 子会社で非連結・持分法非適用会社 ※2 関連会社で持分法適用会社

クローズアップ

芙蓉流通株式会社は、再生紙トイレtpーパーの主要産地である静岡・富士地区に拠点を置く、小津グループの物流部門です。これまで家庭紙・日用雑貨の保管および輸配送を行っていましたが、平成28年6月より埼玉に営業所を構え、小津産業株式会社の不織布製品や原材料の保管および配送を開始しました。今後も小津グループの一員として物流網の強化に努めてまいります。

株式の状況 / 会社概要 (平成28年5月31日現在)

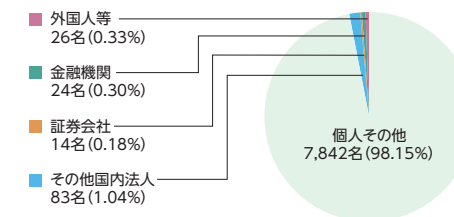
発行可能株式総数 25,000,000株
発行済株式の総数 8,435,225株
株主数 7,989名

大株主(上位10名)

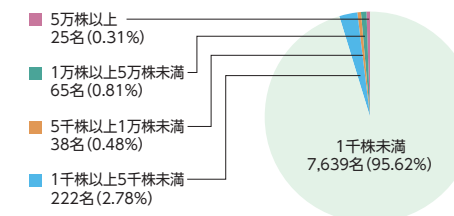
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社小津商店	2,567,676	30.70
小津取引先持株会	325,200	3.89
日本製紙株式会社	197,650	2.36
別府清一郎	137,790	1.65
小津産業従業員持株会	129,360	1.55
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	120,700	1.44
旭化成株式会社	117,700	1.41
株式会社みずほ銀行	117,000	1.40
株式会社三井住友銀行	110,000	1.32
日本製紙クレシア株式会社	96,300	1.15

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の所有者別状況(株主数)



株式の所有数別状況(株主数)



創業 1653年(承応2年)
設立 1939年12月6日
資本金 13億2,221万円
従業員数 89名
事業内容 不織布(エレクトロニクス用、
メディカル用、コスメティック用、
産業資材用)、洋紙・紙製品などの
国内販売・加工・輸出入



事業所

本社 東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号
〒103-8435 TEL 03-3661-9400(代表)
大阪支店

物流センター

埼玉物流センター

海外事業所

シンガポール支店／武漢事務所

役員

平成28年8月26日現在

取締役会長	中田 範三
代表取締役社長	今枝 英治
代表取締役専務	河田 邦雄
常務取締役	稲葉 敏和
取締役	近藤 聡
取締役	廣瀬 恭二
社外取締役	穴田 信次
社外取締役	山下 俊史
常勤監査役	大家 孝明
社外監査役	城見 浩一
社外監査役	松田 繁

株主様情報

株主メモ

事業年度	毎年6月1日～翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告(http://www.ozu.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続きお取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続きお取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

株主優待制度のご案内

株主優待制度について

①株主優待の方法

毎年5月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様に対し、以下の基準により贈呈いたします。

②優待内容

100株以上	クオカード 1,000円
200株以上	ティッシュペーパー、 トイレットペーパー詰合せ 2,500円相当
500株以上	ティッシュペーパー、 トイレットペーパー詰合せ 5,000円相当



③贈呈時期

定時株主総会後に発送いたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7487

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答URLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900(平日 10:00～17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com